

企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和7年度第2四半期（令和7年7月～9月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：149企業

（製造業：30社 建設業：20社 小売業：42社 サービス業：57社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

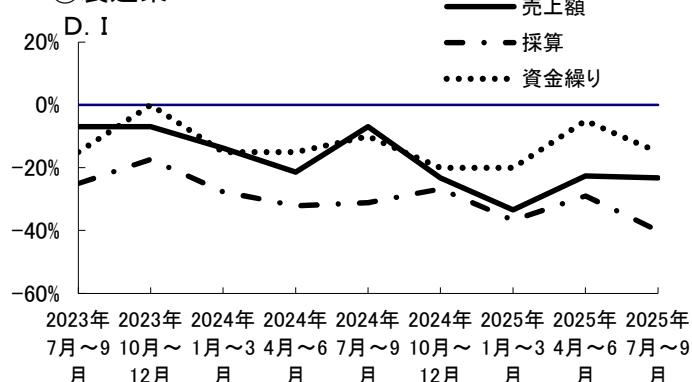
期 別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	令和5年 7～9月期		▲ 20.7		▲ 10.0		▲ 40.5		▲ 5.1		▲ 19.1
	令和5年 10～12月期		▲ 10.7		▲ 20.0		▲ 45.2		▲ 15.2		▲ 22.8
	令和6年 1～3月期		▲ 20.7		▲ 20.0		▲ 45.2		▲ 19.3		▲ 26.3
	令和6年 4～6月期		▲ 10.8		▲ 15.0		▲ 36.8		▲ 8.7		▲ 17.8
	令和6年 7～9月期		▲ 17.9		▲ 20.0		▲ 41.4		▲ 10.5		▲ 22.5
	令和6年 10～12月期		▲ 26.7		▲ 10.0		▲ 33.4		▲ 5.2		▲ 18.8
	令和7年 1～3月期		▲ 26.6		▲ 20.0		▲ 38.5		▲ 15.5		▲ 25.2
	令和7年 4～6月期		▲ 12.9		▲ 5.3		▲ 21.5		1.8		▲ 9.5
	令和7年 7～9月期		▲ 23.3		▲ 10.0		▲ 21.5		1.8		▲ 13.3
	令和7年 10～12月期		▲ 13.3		▲ 10.0		▲ 22.5		▲ 3.7		▲ 12.4

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



<前期比>

売上額 : ほぼ横ばい (▲22.6→▲23.3 ポイント)

採算 : 悪化 (▲29.0→▲40.0 ポイント)

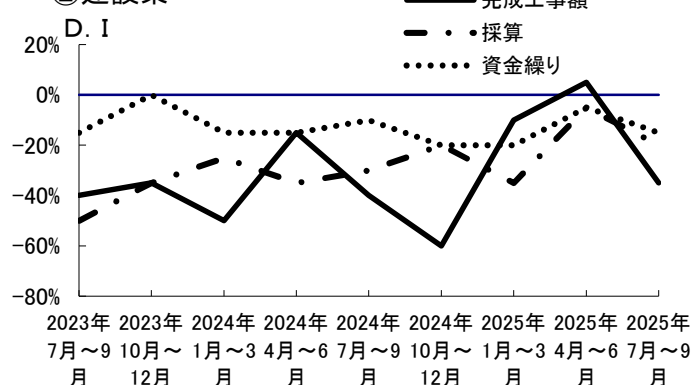
資金繰り : 悪化 (▲3.2→▲13.3 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 原材料価格の上昇 (54.2%)

2 位 : 従業員の確保難 (12.5%)

②建設業



<前期比>

完成工事額 : 大幅悪化 (5.0→▲35.0 ポイント)

採算 : 悪化 (▲5.0→▲20.0 ポイント)

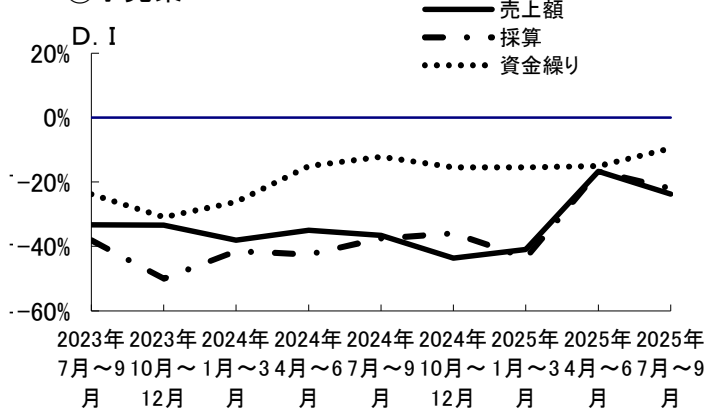
資金繰り : やや悪化 (▲5.0→▲15.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 材料価格の上昇 (38.5%)

2 位 : 従業員の確保難 (15.4%)

③小売業



<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲16.7→▲23.8 ポイント)

採算 : やや悪化 (▲16.7→▲22.0 ポイント)

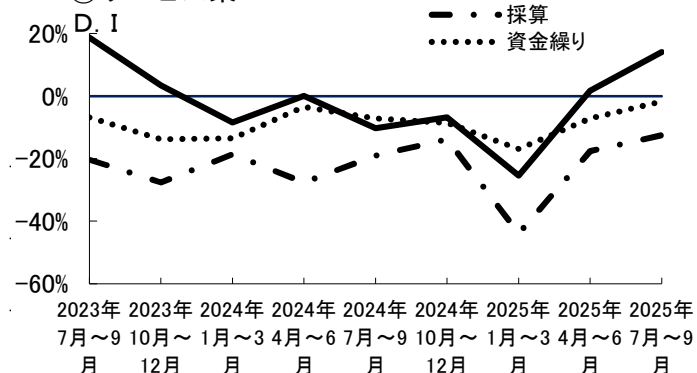
資金繰り : やや好転 (▲15.0→▲9.5 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 仕入単価の上昇 (45.5%)

2 位 : 購買力の他地域への流出 (12.1%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : 好転 (1.7 →14.1 ポイント)

採算 : やや好転 (▲17.8→▲12.5 ポイント)

資金繰り : やや好転 (▲7.1→▲1.7 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1 位 : 材料等仕入単価の上昇 (21.4%)

2 位 : 人件費以外の経費の増加 (16.7%)

従業員の確保難 (16.7%)